

会議結果報告書

1	会議名	戸別収集実験事業に関する説明会（共恵海岸通り自治会）
2	日時	令和7年3月2日（日）14:00～15:00
3	場所	高砂コミュニティセンター
4	出席者	（資源循環課）森岡課長補佐、八幡主事 （環境事業センター）山崎主査 （共恵海岸通り自治会）参加人数：25人
5	内容	<p>資料に基づき、戸別収集実験事業に関する説明会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 戸別収集実験事業を実施して、実験期間以降に戸別収集の実施を見合わせることはあるか。 → 戸別収集による影響や効果が確認できなかった場合においては、ステーション収集に戻すということも考えている。 ● 既に戸別収集を実施している藤沢市と平塚市の戸別収集の実施状況を教えていただきたい。 → 藤沢市は、茅ヶ崎市の分別でいう衣類・布類と古紙類以外の品目を戸別収集しており、令和7年度には、市内一部エリアで試行的に全ての品目を戸別収集する予定である。平塚市は、市内一部エリアで茅ヶ崎市の分別でいう燃やせるごみを戸別収集している。 ● 戸別収集を実施した場合に、収集運搬費用が増えるようだが、市民に新たな負担をかけないようにしていただきたい。 → ご意見として賜る。 ● 戸別収集実験事業を実施するにあたり、パッカー車や軽トラック等を増車するか。また、人員を増員するか。 → 現行の体制で対応する予定である。 ● 共恵地区は、行き止まり道路があり、交通上の支障が生じる可能性があるが、どのように対応していくか。 → 市民が安全に通行することを優先に収集していく。 ● ポリバケツ等は各家庭で用意することになっているが、市が斡旋販売している店舗はあるか。 → 斡旋販売等は行っていない。 ● 現在のごみ出しのルールを守らない人が、ステーションに燃やせるごみを出し続けた場合、どのように対応するか。 → 燃やせるごみは、ステーションでの収集を行わない。燃やせないごみや資源物を

収集している集積場所に出されてしまった場合、啓発シールを貼り、出し直しを促すが、燃やせるごみだけを収集している集積場所であれば、自身で出し直していただく必要がある。問題が生じている場合においては、環境事業センター業務担当まで相談いただきたい。

- 戸別収集実験事業では、既存の収集コースから変更するか。また、その内容は、公表されるか。

→ 新たに収集コースを設計しているため、既存の収集コースから変更する予定であるが、その内容を公表する予定はない。収集作業の状況から、収集車両の通行状況を確認いただきたい。

- これまでパッカー車が進入できないため集積場所をパッカー車が進入できる場所に設置していたが、その集積場所を利用している人は、どのように排出したらよいか。また、どのように案内したらよいか。

→ 各戸（各棟）の敷地内の道路に面した場所にお出しいただければ、収集職員が車両もしくは徒歩で収集する。このことを案内いただきたい。

- 7 世帯で 1 つの集積場所を設けて、ネットを利用してごみ出しをしているのだが、実験期間中においてもそこに出し続けてもよいか。

→ 集積場所では収集しないため、各戸の敷地内の道路に面した場所にお出しいただきたい。ネットの利用については、利用者間で調整いただきたい。

- 私道に面していた場合であっても、私道に面した場所に出せばよいか。

→ そのとおりである。

- 少子高齢化で働く人が減っている中で、人工がかかる戸別収集を実施するとなると税金が上がってしまうのではないかと考える。また、当自治会は比較的問題なくステーションの維持管理ができているため、これまでどおりのステーション収集で問題ないと思うが、実際に戸別収集実験事業を実施するため、周知を徹底する必要があると考える。

→ ご意見として賜る。

- 敷地内に集積場所がないアパートがあるが、そこに対してはどのように案内をされているか。

→ 市からアパートのオーナーや管理会社等に対し、アパートの敷地内に新たに集積場所を設けていただき、居住者のごみ出しが滞りなく行えるよう依頼をしている。

以上